

平成30年度
北海道バイオマスネットワーク会議 総会

地域連絡部会

29年度活動実績及び30年度活動方針(案)

北海道 環境生活部 環境局 気候変動対策課
主幹 北 創

やさしい未来へ
“自立する大地”
バイオマス北海道

北海道バイオマスネットワーク会議

平成30年7月19日 (木) 14:00～
北海道自治労会館 4階ホール

〔平成20年度「行政連絡部会」として設置、平成24年度に改組〕

◆活動方針（地域連絡部会運営要綱第2より）

道内のバイオマスタウンを始めとした市町村・関係事業者・団体等において、情報の共有及び相互連携を図ることで地域からのバイオマス利活用の推進に寄与する

→ 道内の各市町村におけるバイオマス利活用の取組を、相互連携を図ることにより、高度化・広域化し、全道波及につなげていく

◆組 織

構成メンバー：北海道バイオマスネットワーク会議の委員、会員

→ 行政だけでなく、大学、試験研究機関、企業等が一体となって、バイオマス利活用に取り組むことを目指す

◆座 長

北海道 [環境生活部環境局気候変動対策課地域資源活用グループ主幹]

→ 道が市町村や事業者に対応する「ワンストップ窓口」体制を整備し、道の取り組みと連動した効果的な活動を展開する

2.地域連絡部会の活動実績 (1)情報交換、課題検討

【平成29年度の活動方針】

バイオマス産業都市の活用に向けた情報交換、課題検討

- 「地域連絡部会」意見交換会の開催(年2回、セミナー開催時にあわせて実施)

【平成29年度の活動実績】

◆7月27日(木) 北海道バイオマスネットワーク会議「第1回地域連絡部会」開催

～ 全道から18市町が参加 (夕張、芦別、江別、当別、平取、浦河、知内、八雲、紋別、津別、興部、雄武、士幌、新得、幕別、足寄、標茶、別海)

- 札幌以外で「バイオマス利活用に関する意見交換会」開催

◆9月1日(金)「バイオマス利活用に関する意見交換会(空知地域)」開催(空知の市町村対象)

～ 2市町参加 (美唄、新十津川)

同時開催「地域を創るバイオマス利活用講座2017」(NPOバイオマス北海道)

～ 32名参加 (企業、行政機関)

◆2月16日(金) 北海道バイオマスネットワーク会議「第2回地域連絡部会」開催

～ 全道から12市町が参加 (江別、当別、知内、浜頓別、津別、興部、士幌、上士幌、新得、幕別、足寄、別海)

【平成29年度の活動方針】

検討成果のセミナー等での発表、道内市町村への情報発信

- ・ 「事例報告・検討会」「フォーラム」等で、先進自治体による事例報告を実施
- ・ 普及啓発部会と連携し、事例報告の内容を、道のHPや情報誌「HB net News」で情報発信

【平成29年度の活動実績】

<先進自治体の事例報告>

■事例報告・検討会（H29.7.27）

◆「神戸市東灘処理場におけるバイオマス活用事業の展開について」

■「北海道バイオマス・ネットワークフォーラム2018」（H30.2.16）

- ◆知内町「木質バイオマスによる低炭素なまちづくりで産業と雇用を創出」
- ◆興部町「町営バイオガスプラント導入による効果と今後の展開」
- ◆南但広域行政事務組合「一般廃棄物(生ごみ、紙ごみ)によるメタン発酵及び発電」

<バイオマス利活用事例・関連技術情報>

■事例報告・検討会（H29.7.27）

◆(株)町村農場「環境対策としてのバイオガスプラントの導入について」

<先進自治体の事例報告>

■事例報告・検討会（H29.7.27）



[事例報告(神戸市)]



■「北海道バイオマス・ネットワークフォーラム2018」（H30.2.16）



[事例報告(知内町)]



<普及・啓発部会と連携した情報発信>

- ◆バイオマスに係る情報を集約したポータルサイト「北海道のバイオマス」を道庁のWeb上に開設
 - ・ 支援制度情報(国・道・その他)を始め、道内市町村の取組や、関係資料、関係機関のリンク先等を掲載
- ◆「北海道バイオマス・メールマガジン」を発行
 - ・ H26年12月から道のメールマガジンシステムで配信中 (道の共通メルマガ・サイトから、自由に登録可能)



このページは、「北海道のバイオマス」の活用に向けたポータルサイトです。

※ 目次 ※

1. 北海道のバイオマス 概要

◇バイオマスについて

- ・バイオマスとは?
- ・なぜ、バイオマスの活用が必要なの?
- ・どんな利用方法があるの?

◇北海道のバイオマスの利活用

- ・現状は? 課題は?
- 【バイオマス発生量】 【バイオマス利活用量】
- ・北海道のバイオマスの利活用 どうやって進めていくの?

2. 新着情報

◇上川総合振興局 木質バイオマス推進室のページが開設されました。(H26.11.7) **new!**
上川管内の木質バイオマスの安定供給に向けた取組などを紹

3. 支援制度情報(国・道・その他)

◇市町村・事業者向け支援制度
■国のバイオマス支援施策一覧(平成27年度 予算案ベース)(Excelファイル)(平成27年1月) **new!**
本施策集は、バイオマスの利活用に向け、平成27年度の国の予算案から、市町村等において活用が可能な支援施策の概要を取りまとめたものです。
(内容については、各省庁などが公表している政府予算案の内容を必ず変更があり得ますので、ご確認ください。)

■バイオマス利活用の推進に向けた支援施策一覧(平成26年度版)(Eバイオマスの利活用に向けた取組に対する国・道・その他団体です。)

◇北海道バイオマス・メールマガジン
(発行:北海道バイオマスネットワーク会議)
・新設登録・過去のメール一覧はこちら

※ 国・道・関係機関の支援情報(リンク先)はこちら



8. 関係機関の情報(リンク先)

(1)北海道庁 関係課・関係機関

ホームページの名称・組織名	説明
北海道の地産地消・木質バイオマス (北海道 水産林務部 林業木材課)	・木質系バイオマスの利活用
環境・エネルギー室 (北海道 経済部 環境・エネルギー室)	・新エネルギー・再生エネルギーとしての利用
6次産業化の推進 (北海道 農政課 食品政経課)	・農林業の6次産業化に向けた各種施策等
下水道のページ (北海道 建設部 都市環境課)	・下水処理場の利活用
次世代北方型自立型モデル郡構想 (北海道 建設部 都市計画課)	・地域資源を活用した持続可能な地域づくり
北海道の3Rの推進 3R推進室 (北海道 環境生活部 循環型社会推進課)	・3R(リユース・リデュース・リサイクル)の取組
地域版エネルギー導入アドバイザー制度 (北海道 企業局 環境課)	・市町村等の新エネルギー導入の支援
北海道立総合研究機構 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)	・利活用に向けた調査研究・技術支援等
環境・エネルギーとかな 再生可能エネルギー推進普及事業 (北海道 十勝総合振興局 環境生活課)	・十勝総合振興局の取組紹介
バイオマスネットワークフォーラムのページ (北海道 建設部 都市環境課)	・バイオマスネットワークフォーラムの取組紹介
未来を育てます!上川の木質バイオマス (北海道 上川総合振興局 木質バイオマス推進室)	・上川管内の木質バイオマス情報 ・木質バイオマス発生量把握システム

北海道のメールマガジン

— 新鮮な北海道情報が満載 —

北海道では、あなたのもとに北海道の最新情報をお届けするメールマガジンを発行しています。
北海道の行事(告知)など、北海道に興味のある方、多くの方の皆さんの購読をお待ちしています。(購読無料)

1 初めに「ご利用に当て」をお読みください。

2 配信を希望されるメールアドレスを入力してください。
(携帯電話への配信はしていません)
メールアドレス入力欄

新規登録の方は、確認欄にも入力願います。
確認欄

3 初めて登録される方は「新規登録」、登録済みの方が追加登録、登録解除、変更を行う場合は、「メールマガジンの変更」を選んでください。なお、各メールマガジンの選択は「新規登録」、「メールマガジンの変更」の選択後に表示されるチェックボックスで行ってください。

● 新規登録 ● メールマガジンの変更 ● ご利用に当たって

禁止事項
・他人のメールアドレスを、その所有者の承諾なしに読者登録すること。
・不正に入手または生じた大量のメールアドレスを読者登録すること。

北海道バイオマス・メールマガジン
発行時期(不定期・年約4程度) 発行:北海道バイオマスネットワーク会議

【平成29年度の活動方針】

バイオマスアドバイザーの派遣

- バイオマスの利活用に取り組む市町村に専門家を派遣し、計画策定や課題解決に助言

所属	職	氏名	分野
帯広畜産大学大学院	教授	藤澤 一等	畜産系
酪農学園大学	教授	高橋 圭二	畜産系
道産研 農業研究本部 十勝農業試験場	主任 (栽培システム)	関口 隼二	畜産系
別荘バイオガス発電 株式会社	所長	有田 博喜	畜産系
北海道大学 大学院工学研究科	助教	山形 定	木質系
道産研 森林研究本部 林産試験場	森林経営部長	刈尾 俊之	木質系
道産研 森林研究本部 林産試験場	主任生産 (エンジニア)	山田 敦	木質系
北海道地域環境株式会社	重役部長	下川 真次	木質系
株式会社 森林環境リソース	専務取締役	石山 浩一	木質系

所属	職	氏名	分野
一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会	主任専門調査員 兼特別研究員	前川 洋平	木質系
株式会社 森のエネルギー研究所	チーフプランナー	大矢 仁	木質系
北海道大学 大学院工学研究科	教授	石井 一英	廃棄物系
北海道大学 大学院工学研究科	特任助教	海谷 知	廃棄物系
道産研 産業技術研究本部 工業試験場	研究主幹	北口 敏弘	全般
道産研 産業技術研究本部 工業試験場	主任	山根 幸嗣	全般
一般社団法人 日本有機資源協会	事務局次長	菅原 貴	全般
特定非営利活動法人 北海道グリーンファンド	理事長	鈴木 亨	全般

・バイオマスアドバイザーの派遣要望は随時受付
・旅費、謝金は道が負担

(窓口:北海道 環境生活部
環境局気候変動対策課
地域資源活用G)

【平成29年度の活動実績】

6市町に7回アドバイザーを派遣



区分	分野	アドバイス事項(テーマ)
事業化支援	畜産系	・今後の畜産系バイオマス利用事業の可能性について
	木質系	・チップボイラーの導入について ・チップ生産に関する基礎知識 ・低コストで安定的な生産が出来る方法等
普及啓発	畜産系	・ふん尿の供給や発電コスト等運用面の課題について ・バイオガスプラント導入に係る資金調達、売電や運営など実務全般について
	木質系	・林地未利用材の有効活用について ・木質バイオマスの基礎知識、ボイラーの種類、導入事例 ・地域での森林資源、木質バイオマスの有効活用について

3.地域連絡部会の今後の活動 (1)平成30年度活動方針

【平成30年度活動方針】

バイオマス産業都市の活用に向けた情報交換、課題検討

- ・ 「地域連絡部会」意見交換会の開催(年2回、セミナー開催時に合わせて実施)
- ・ 「バイオマス利活用に関する地域意見交換会」の開催(NPOバイオマス北海道と共催)

検討成果の発表、道内市町村への情報発信

- ・ 「事例報告・検討会」「フォーラム」等で、先進自治体による事例報告を実施
- ・ 普及・啓発部会と連携し、事例報告の内容を、道のHPや情報誌「HB net News」で情報発信

バイオマスアドバイザーの派遣

- ・ バイオマスの利活用に取り組む市町村に専門家を派遣し、計画策定や課題解決に助言

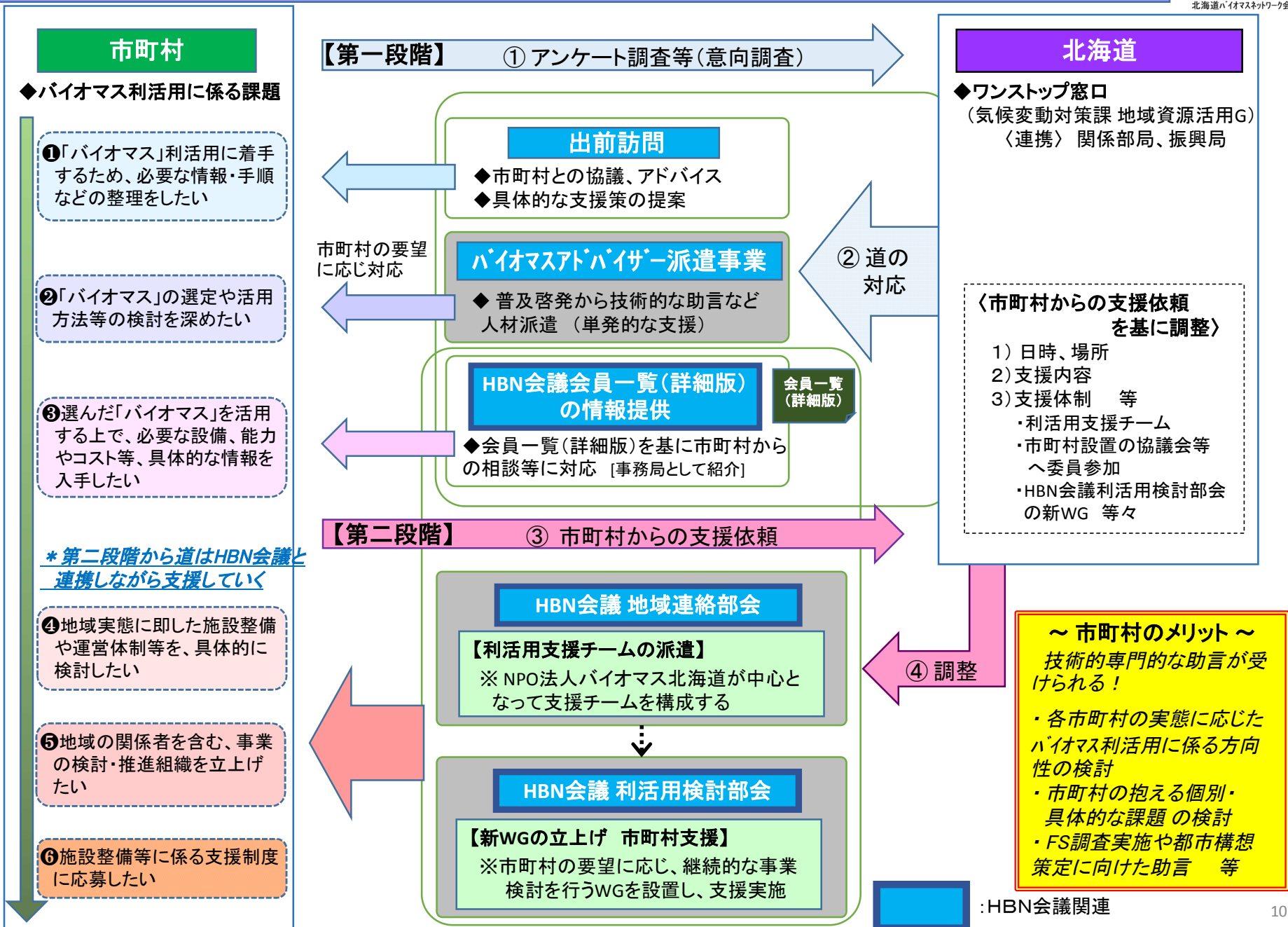
委員・会員間の情報共有、相互連携によるバイオマス利活用の推進

- ・ 「事例報告・検討会」「フォーラム」等における、事例報告への参加促進
- ・ 会員一覧(詳細版:相談・助言等が可能な分野等の情報)を作成し、市町村へ提供

委員(市町村)に対する、会員(企業等)による助言・支援の実施

- ・ 委員(市町村)からの依頼を受け、「利活用支援チーム」を組成し、市町村へ派遣、相談対応
※ 「利活用支援チーム」の組成等調整は、NPO法人バイオマス北海道が中心となって対応
- ・ 委員(市町村)から、さらに継続的な事業検討の要望があった場合は、利活用検討部会と協議の上、新たなワーキンググループを立上げ、支援を実施していく

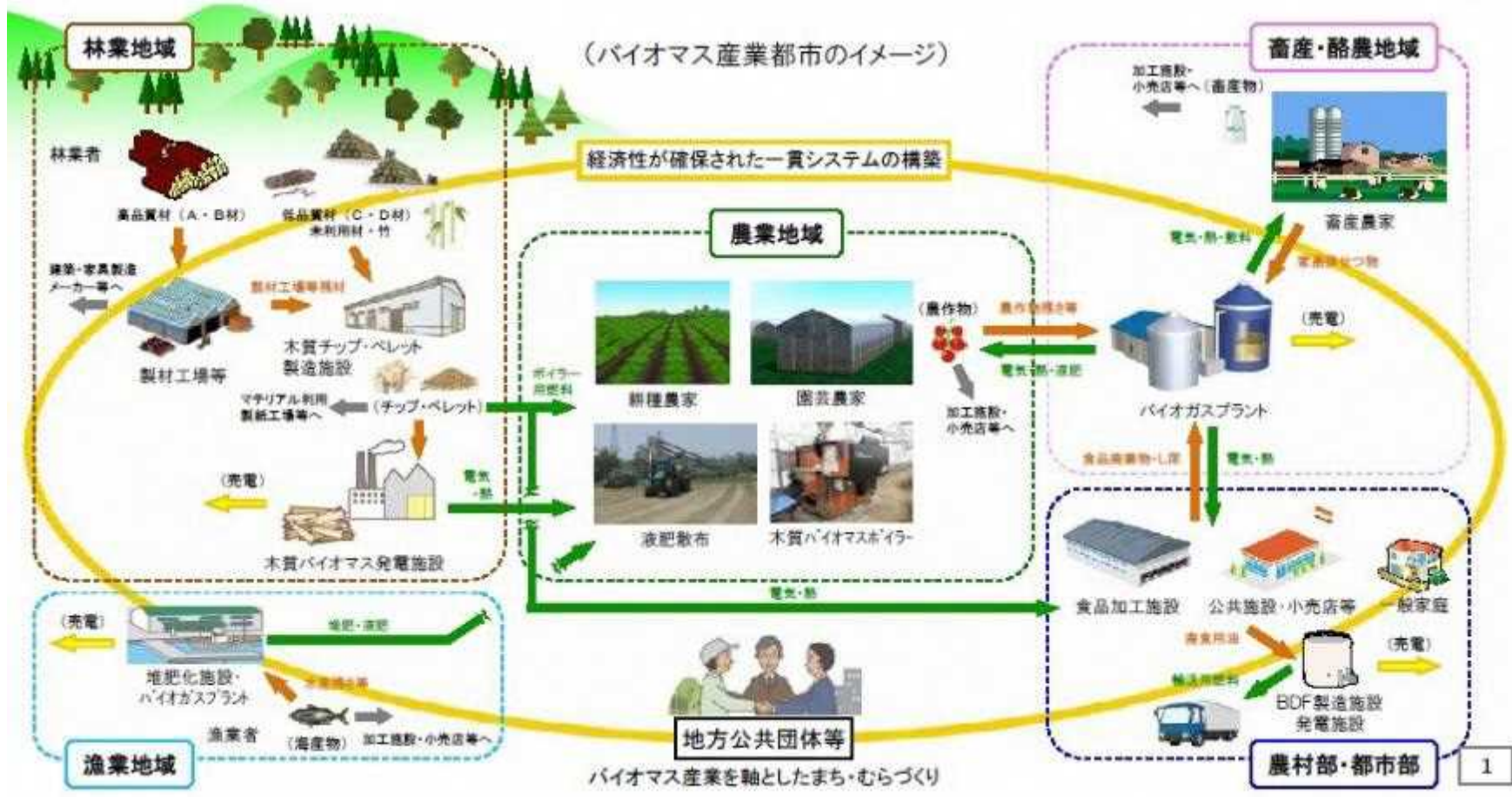
3.地域連絡部会の今後の活動 (2) 市町村への支援イメージ



1. バイオマス産業都市について

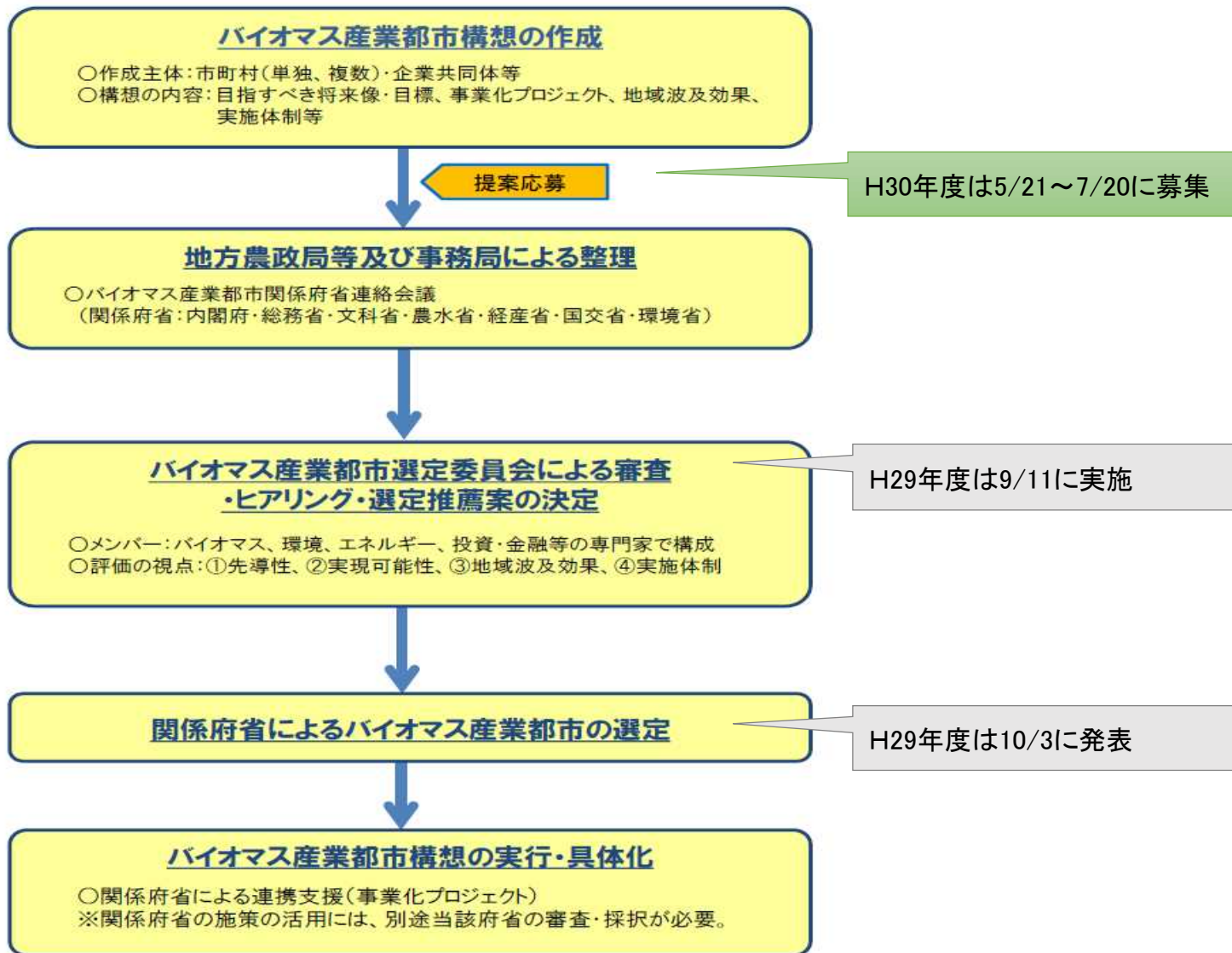
○ バイオマス産業都市とは、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域であり、関係7府省が共同で選定。

※関係7府省：内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省



※農林水産省HPから転載

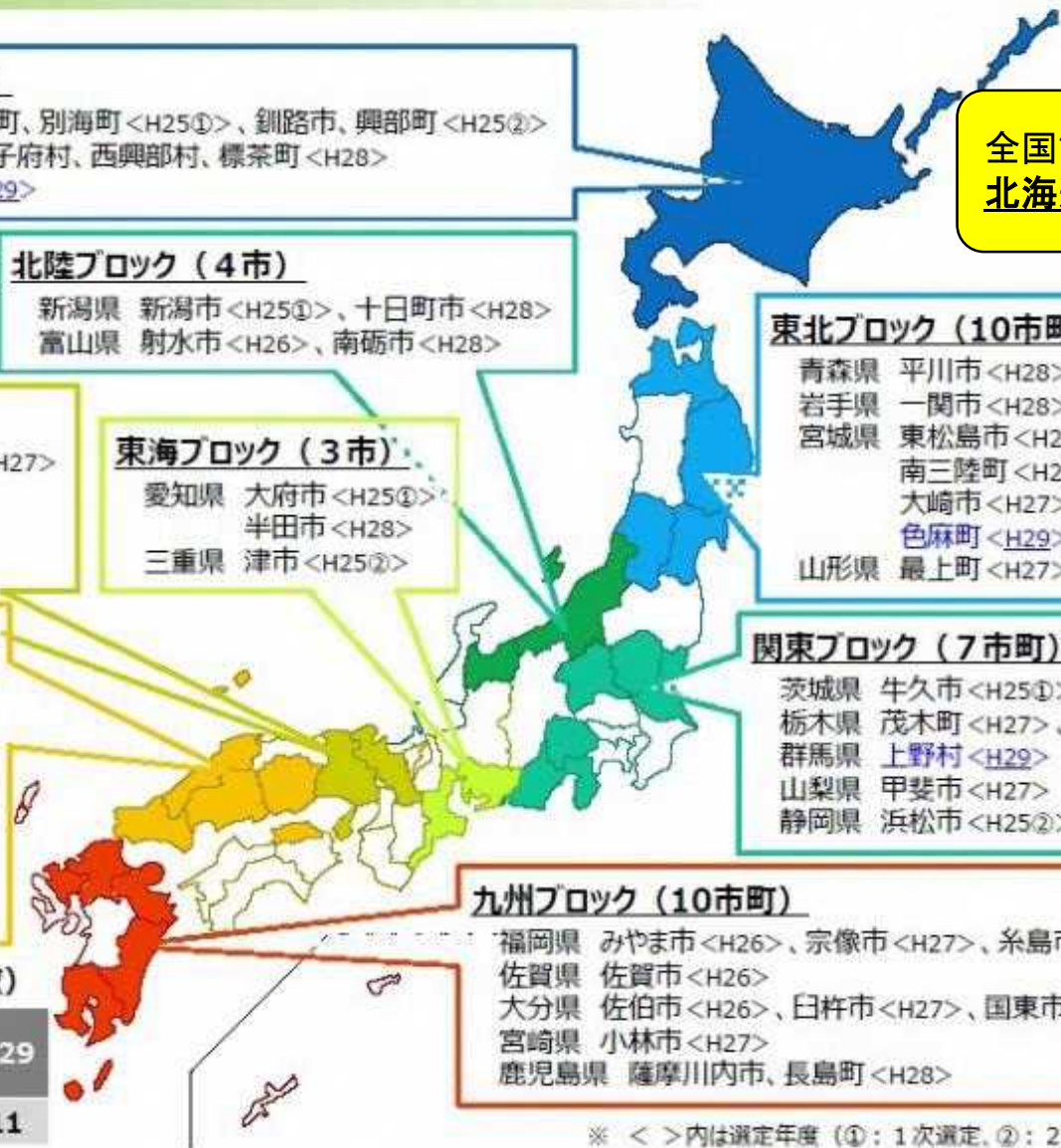
バイオマス産業都市選定の流れ



4. 国の支援策（「バイオマス産業都市」の活用③）

（参考）バイオマス産業都市の選定地域

全国79市町村のうち
北海道は31市町村



北海道ブロック (31市町村)
 十勝地域 (19市町村)、下川町、別海町<H25①>、釧路市、興部町<H25②>
 平取町<H27>、知内町、音威子府村、西興部村、標茶町<H28>
 滝上町、中標津町、鶴居村<H29>

北陸ブロック (4市)
 新潟県 新潟市<H25①>、十日町市<H28>
 富山県 射水市<H26>、南砺市<H28>

東北ブロック (10市町村)
 青森県 平川市<H28>、西目屋村<H29>
 岩手県 一関市<H28>
 宮城県 東松島市<H25①>
 南三陸町<H25②>
 大崎市<H27>、加美町<H28>
 色麻町<H29>
 山形県 最上町<H27>、飯豊町<H29>

近畿ブロック (5市町)
 京都府 京丹後市、南丹市<H27>
 京丹波町<H28>
 京都市<H29>
 兵庫県 洲本市<H26>

東海ブロック (3市)
 愛知県 大府市<H25①>
 半田市<H28>
 三重県 津市<H25②>

関東ブロック (7市町)
 茨城県 牛久市<H25①>
 栃木県 茂木町<H27>、大田原市<H29>
 群馬県 上野村<H29>
 山梨県 甲斐市<H27>
 静岡県 浜松市<H25②>、掛川市<H28>

中国・四国ブロック (9市町村)
 島根県 奥出雲町<H25②>
 隠岐の島町<H26>
 飯南町<H27>
 岡山県 真庭市、西粟倉村<H25②>
 津山市<H27>
 広島県 東広島市<H29>
 山口県 宇部市<H29>
 香川県 三豊市<H25①>

九州ブロック (10市町)
 福岡県 みやま市<H26>、宗像市<H27>、糸島市<H28>
 佐賀県 佐賀市<H26>
 大分県 佐伯市<H26>、臼杵市<H27>、国東市<H28>
 宮崎県 小林市<H27>
 鹿児島県 薩摩川内市、長島町<H28>

年度別選定地域数（※市町村数）

H25		H26	H27	H28	H29
1次	2次				
26	8	6	12	16	11

※ < >内は選定年度 (①：1次選定、②：2次選定)

4. 国の支援策（「バイオマス産業都市」の活用④）

◆道内バイオマス産業都市構想の概要 ※平成29年度選定分

選定地域	構想の概要	事業化プロジェクト
滝上町	町内に豊富に存在する木質バイオマスや廃棄物系バイオマスを有効活用しエネルギーの観点において自立した、環境にやさしく災害に強い町を目指す。また、オホーツク地域を先導する取り組みにより、交流人口等が増加して賑わいのある町を目指す	(1) 森林系木質バイオマス活用促進プロジェクト ・木質バイオマス活用促進事業構築プロジェクト 林地残材等未利用森林系バイオマスをチップとして加工し、バイオマスボイラーを備える施設に供給 ・育苗ハウスにおける木質バイオマス利用熱活用プロジェクト (2) 木質バイオマス高度利用検討プロジェクト 小型バイオマスCHPを導入し、電気使用量及び灯油使用量を自家消費で賄うことを検討・計画 (3) 食品廃棄物等小規模バイオガス化検討プロジェクト 食品廃棄物（産業廃棄物系、一般廃棄物系）より、小規模バイオガス化装置にてエネルギーに変換
中標津町	・バイオマス資源循環を軸にした環境にやさしく、持続可能な地域社会の実現 ・エネルギー需給率の高いまちづくりと、地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築 ・新たな産業による雇用創出と地域環境の向上	(1) 畜産バイオガスプラント・プロジェクト(6地区) ・乳牛ふん尿を適切に処理するバイオガスプラント事業、食品廃棄物も原料の対象。生産したバイオガスはバイオガス発電会社へ販売。 (2) 木質バイオマス発電プロジェクト ・間伐材を炭化乾燥炉で乾燥並びに炭化。その排気熱をボイラーへ投入し、同時に乾燥、炭化した状態のバイオマス燃料を粉碎スクリーにより燃焼炉へ自動投入して燃焼。 (3) 廃菌床ベレット化プロジェクト ・しいたけの菌床栽培事業から排出される、廃菌床（おが粉）を活用し、廃菌床ベレットを生産
鶴居村	家畜ふん尿を有効利用した事業化プロジェクトの実現を推進することにより、ラムサール条約湿地の環境改善を図り、滞在型の観光促進により地域活性化や商業や工業、六次産業への大きな波及効果をもつバイオマス産業都市を目指す	(1) 家畜ふん尿有効利用プロジェクト（3地区） ・乳牛ふん尿を適切に処理するバイオガスプラント事業（食品廃棄物も原料の対象、消化液、再生敷料も活用） ・生産したバイオガスは隣接するバイオガス発電会社へ販売 ・プラント隣接地にハウス温室を建設して熱供給（発電余剰熱を利用） (2) 木質バイオマス発電・熱利用プロジェクト ・村内の未利用材による熱供給と売電事業 ・間伐材や林地残材など木質チップから合成ガス燃料に変換し、ガスエンジンにて発電



4.国の支援策（「バイオマス産業都市」の活用⑤）

平成30年度関連予算

食料産業・6次産業化交付金 [1,678（－）百万円]

※（ ）内は前年度予算額

～ 6次産業化関連の市場規模拡大に向け、加工・直売、バイオマス、食育等の取組を支援 ～

[農林水産省 バイオマス循環資源課]

(1) バイオマス利活用推進事業

バイオマス産業都市選定地域におけるプロジェクトの実現に必要な調査・設計等を支援します。

〔補助率：1/2以内
事業実施主体：民間団体等〕

(2) バイオマス利活用施設整備事業

バイオマス産業都市選定地域におけるプロジェクトの実現に必要な施設整備を支援します。

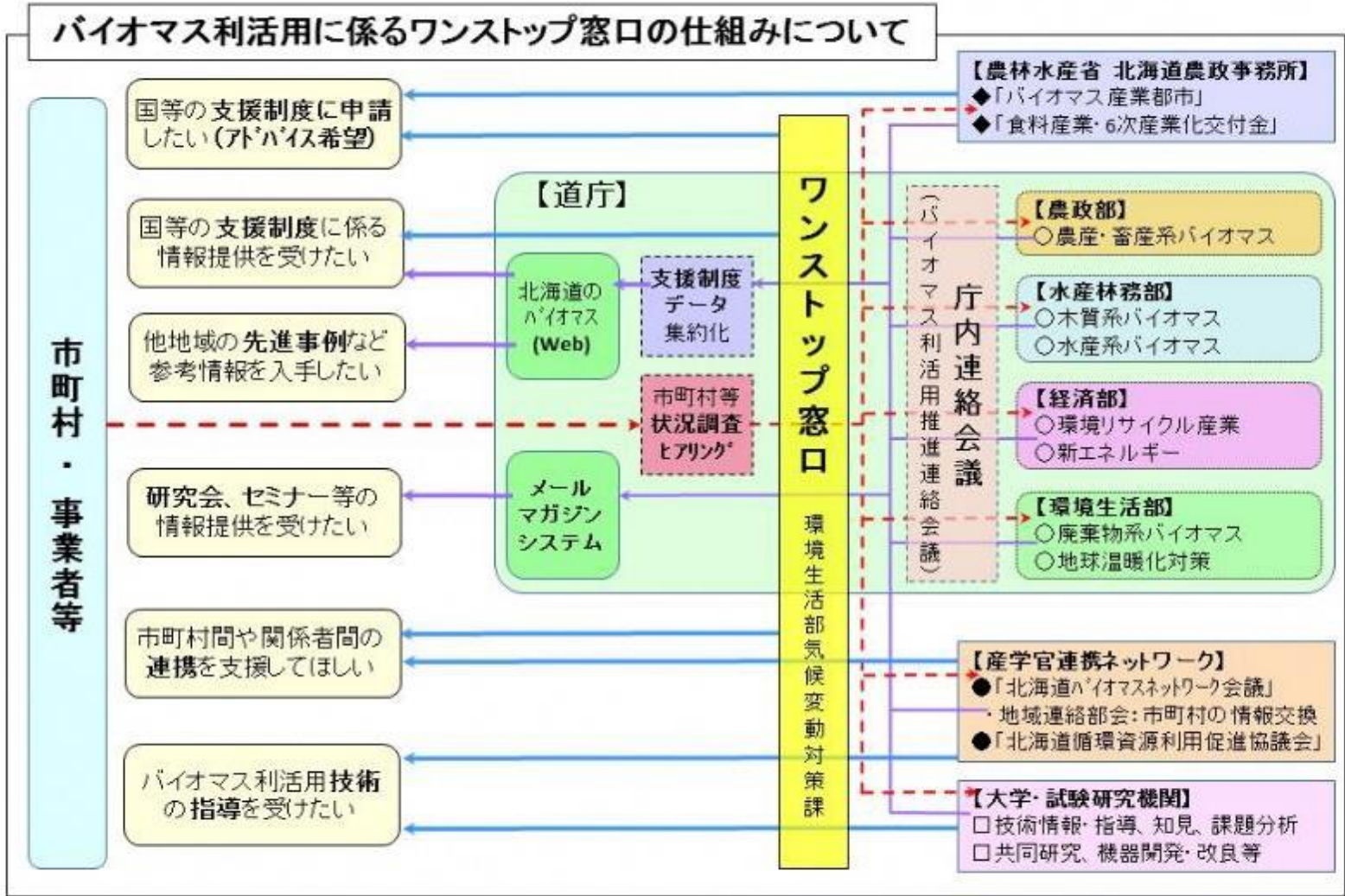
〔補助率：1/2、1/3以内
事業実施主体：民間団体等〕

H31年度分は
2月に要望を
調査する予定

◆道内における活用実績

年度	推進事業	整備事業	
	補助金交付先	補助金交付先	内容
28	西興部村	興部町	[興部町]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備 H27～継続
	標茶町	士幌町農業協同組合	[士幌町]個別型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備
	浜頓別町	十勝新得バイオガス株式会社	[新得町]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備 H27～継続
	滝上町	株式会社DISPO	[帯広市]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備 H26～継続
29	平取町	KEHバイオ株式会社	[別海町]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備
		西興部村	[西興部村]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備
		足寄町農業協同組合	[足寄町]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備
30	豊頃町	西興部村	[西興部村]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備
		足寄町農業協同組合	[足寄町]集中型(家畜ふん尿)バイオガスプラント整備

5.道の支援策 ワンストップ窓口



バイオマス関連企業、大学、試験研究機関、行政等
産学官ネットワークの総力を挙げた連携・協力を期待！

- ◆道庁内においてバイオマスに関する総合的な企画調整機能を担う体制を整備
→ 気候変動対策課地域資源活用Gが、情報共有のハブとして活動
- ◆市町村や事業者に対応する「ワンストップ窓口」を開設

地域の方々や市町村単独では解決が困難なら、私たちにご相談ください。

協力・連携のお手伝いをします。一緒に悩みながら、頑張りましょう。

支援施策には「旬」があります。好機を逃さず、チャレンジしてみましょう。

バイオマスに係るご相談は、
いつでも、お気軽にご連絡を！

＜北海道バイオマスネットワーク会議 事務局＞
兼
＜北海道のバイオマスに係るワンストップ窓口＞

北海道環境生活部環境局気候変動対策課
地域資源活用グループ TEL 011-204-5334